

福知山線列車事故について

2005年4月25日、弊社は、106名のお客様の尊い命を奪い、500名を超える方々を負傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。あらためましてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様、お怪我をされた方々とご家族の皆さんに、心より深くお詫び申し上げます。

あわせて、事故に関して多大なるご心労、ご迷惑をおかけいたしましたお客様や地域の皆さんに、心からお詫び申し上げます。

弊社としては、今後とも被害に遭われた方々に精一杯対応していくとともに、さらなる安全対策の充実、企業風土の変革に取り組んでいく決意であります。

そして、この事故を決して忘れることなく、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を強く自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げることに全力を挙げて取り組んでまいります。

概 要

- ・発生日時
2005年4月25日9時18分頃
- ・発生場所
福知山線塚口・尼崎駅間 尼崎起点1k805m付近(兵庫県尼崎市)
- ・関係列車
宝塚発同志社前行 上り快速列車 電第5418M列車(207系7両編成)
- ・概況
電第5418M列車は、塚口・尼崎駅間において、半径304mの右曲線に制限速度70km/hを大幅に超える116km/hで進入し、1両目が左へ転倒するように脱線し、続いて2両目から5両目が脱線しました。
1両目および2両目車両が進行方向左側のマンションに衝突、大破するなど、多数のお客様を死傷させる大惨事を惹き起こしてしまいました。



- ・被害に遭われた方々
お亡くなりになられた方 お客様106名 運転士1名
お怪我をされた方 お客様562名 付近をご通行中の方1名



事故後の対応

⇒具体的な取り組み内容、進捗状況などは、弊社企業ホームページに詳しく記載しています。あわせてご覧ください。
<http://www.westjr.co.jp/fukuchiyama/>

安全性向上の取り組み ～鉄道事故調査報告書への対応

福知山線列車事故後、直ちにこれまでの取り組みを振り返り、反省すべき点・課題を踏まえ、より安全性を向上させるための課題を抽出し、できることから早急に実施するとの決意を具体化し「安全性向上計画」を策定しました。取り組み項目ごとに責任部署と関係部署を定め、実施スケジュールを明確にしたうえで、各種施策に取り組むとともに、「安全性向上実行委員会」などで進捗状況に対する評価を行い、必要に応じて取り組みの改善を行い、計画を推進しました。

この取り組みについては、長期間に亘る継続的な取り組みが必要であり、未だ課題を残すものの、「ソフト対策」についてはすべての項目について仕組みを構築、実施に移しており、また「ハード対策」は、項目ごとに完成時期を明確にして逐次整備を進めております。

あわせて、2007年6月に航空・鉄道事故調査委員会(当時)から「鉄道事故調査報告書」が示されたことを契機として、あらためて課題を集約し、2008年4月に「安全基本計画」をとりまとめました。本計画は「お客様の死傷事故ゼロ、社員の重大労災ゼロへ向けた体制の構築」を到達目標とするもので、具体的な取り組み内容を明記し、JR西日本グループを挙げた取り組みを推進しています。

⇒安全基本計画の取り組みの詳細はP25～30に記載しています。あわせてご覧ください。

被害に遭われた方々への対応

現在、ご遺族様をはじめ被害に遭われた方々に対しては、ご被害者対応を行う専任組織である「福知山線列車事故ご被害者対応本部」で対応させていただいており、お一人おひとりのご意見などを丁寧にお伺いしながら、精一杯の対応に努めております。

追悼慰霊式の開催

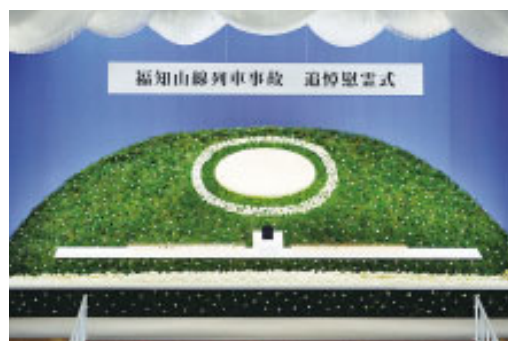
2005年9月に「慰霊と安全のつどい」を開催し、その後、毎年4月25日には「追悼慰霊式」を開催しております。また、式典終了後には、例年一般の方々などからの献花も頂戴しています。

ご説明会などの開催

弊社の安全性向上の取り組みのご説明や弊社に対するご意見などをお伺いさせていただく場として、これまでに12回(延べ51回)、社長以下の役員などが出席するご説明会などを開催しております。

心のケアの取り組み

今もなお、ご遺族様をはじめ被害に遭われた方々のお気持ちは決して癒えることのない深いお悲しみ、お苦しみのなかにあり、専門家や有識者の方々のご指導、ご協力をいただき、少しでも心のケアに役立てていただくよう取り組んでおります。2011年5月には、ご被害者の心のケアや、将来の不安を少しでも和らげていただくため、第三者性、専門性を有する保健師や社会福祉士といったスタッフのご相談に応じる相談窓口を開設しました。



「追悼慰霊式」



献花をする弊社役員

事故を踏まえての地域にお役に立つ取り組み

事故を惹き起こしたことにより、さまざまな方々や地域社会に大変なご迷惑をおかけしたことを踏まえ、2009年4月にJR西日本あんしん社会財団を設立し、市民の方々を対象とした心身ケアの取り組みや安全基盤形成に関する研究助成などを行っております。

⇒JR西日本あんしん社会財団についてはP38に記載しています。あわせてご覧ください。

事故を忘れない取り組み

弊社では、福知山線列車事故の重大性と安全の重要性を肝に銘じ、社員一人ひとりが安全性向上と信頼回復に向けた取り組みを実践していくために、ＪＲ西日本グループ全体で福知山線列車事故を忘れないための取り組みを行っています。

安全性向上に向けて具体的に行動を起こす日として、毎月25日を「安全の日」と定め、安全に関する学習や系統を越えた社員間でのディスカッションなど、各職場で工夫した取り組みを行っています。特に、毎年4月25日の前後には、福知山線列車事故を重い教訓として胸に刻み込むための研修を、全職場・グループ会社において実施しています。事故当時の状況や、ご被害者からいただいたお声を中心とした研修教材などを用い、事故の悲惨さやいのちの大切さを胸に刻み、安全への決意を新たにしています。

また、福知山線列車事故の反省点や課題を認識し、それらを踏まえた安全性向上のための取り組みなどについて学ぶことを目的に、「鉄道安全考動館」や事故現場において安全研修を実施しています。

加えて、ご被害者への対応を行ってきた社員が中心となって、自分が目のあたりにした事故の悲惨さなどについて語り継ぐことを目的に特別講義を実施しています。また、ご被害者に直接講話していただき、その講話を収録したDVDを視聴す



特別講義



事故現場に供えられたお花



献花台の立哨

事故後の対応

国土交通省 運輸安全委員会（前航空・ 鉄道事故調査委員会）／ 国土地交通省		H17.4.25 福知山線列車事故									
JR西日本の取り組み	安全の取り組みなど	H17.9 「鉄道事故調査について （経過報告）」公表 「建議」	H17.11 「安全性向上計画」の 着実な実施 についての報告	H18.3 鉄道事業法改正	H18.10 「運輸安全マネジメント 評価（第1回）」実施	H19.2 「意見聴取会」開催	H19.6 「鉄道事故 調査報告書」公表 「建議」「所見」				
	対応	H17.5 「安全性向上計画」策定	H17.6 第1回 「安全諮問委員会」開催	H18.3 新たな「企業理念」 「安全憲章」制定	H18.6 「安全研究所」の設立	H18.10 「JR西日本グループ 中期経営目標」の見直し 「鉄道安全管理規程」制定	H18.10 「安全を最優先する 企業風土」の構築を 経営目標とした、 「JR西日本グループ 中期経営目標」の見直し	H19.6 「鉄道安全報告書」公表 2007年	H19.7 「安全諮問委員会 最終報告」取りまとめ	H19.9 第1回 「安全推進有識者会議」開催	
		H17.5 「福知山線列車事故 相談室」の設置	H17.6 「お詫びと今後の取組 み」の「説明会」開催	H17.9 「慰霊と安全のつどい」開催 「説明会」開催	H17.10 「安全性向上計画の 進捗状況等」の 「説明会」開催	H18.1 「地区別懇話会」開催	H18.3 福知山線列車事故 ご被害者対応本部の設置	H18.4 「追悼慰霊式」開催	H18.7 「報告会」開催	H19.4 「追悼慰霊式」開催	H19.8 「説明会」開催

るなど、社員がご被害者のお声やご意見をお聞きする機会も設けています。

さらに、社員一人ひとりが事故現場を訪問することで、この事故の重大性や安全の重要性をいっそう強く認識するため、弊社社員およびグループ会社社員が自主的に事故現場を訪れて献花を行っています。また、献花台の前に立哨して献花に訪れる方々をお迎えする取り組みも継続しています。

⇒鉄道安全考動館における安全研修については、P27に記載しています。あわせてご覧ください。

今後の取り組みについて

2009年9月に、弊社役員などによる航空・鉄道事故調査委員会(当時)の委員の方々への情報漏えいの働きかけや資料の提出不備などの事実が判明しました。弊社は、この事実を踏まえ、あらためて事故後のさまざまな事象を振り返り、事故に正面から向き合うとともに、被害に遭われた方々に真摯に向き合う取り組みを進めております。

これまで、さまざまな方々からのご意見などに対して真摯にお応えしてきたところですが、弊社としては、各役員が先頭に立って、引き続きご被害者への弔問やお見舞いなどを通じご被害者の思いを丁寧かつきめ細かく受け止めさせていただくよう、努めてまいります。また、将来にわたってご被害者のさまざまなご意見などをお伺いしご相談に応じることができるよう、対応の窓口を堅持するとともに、ご被害者に対するご説明会を継続していきます。

今後とも、福知山線列車事故を決して忘れることなく、経営の3本柱に掲げている「被害に遭われた方々に誠心誠意と受け止めていただけるような取り組み」「安全性向上に向けた取り組み」「変革の推進」について、しっかりと取り組んでまいります。

H19.10		H20.10	H20.10	H21.9	H21.9	H21.10		H22.3		H23.1	H23.4		H24.10	
「運輸安全マネジメント 評価(第2回)」実施		「運輸安全委員会」を 調査委員会」を	「航空・鉄道事故 調査委員会」を	「運輸安全マネジメント 評価(第3回)」実施	「運輸安全マネジメント 評価(第4回)」実施	「運輸安全マネジメント 評価(第4回)」実施	「運輸安全マネジメント 評価(臨時)」実施	「運輸安全マネジメント 評価(臨時)」実施		「運輸安全マネジメント 評価(第5回)」実施	運輸安全委員会の検証 チームが「不祥事問題の検 証と事故調査システムの 改革に関する提言」を公表		「運輸安全マネジメント 評価(第6回)」実施	
H20.2	H20.4	H20.5				H21.10	H21.11	H21.12	H22.10	H22.12				
「安全推進有識者会議」提言	「安全基本計画」策定	「安全基本計画」を根幹と する「JR西日本グループ 中期経営計画 2008-2012」策定				情報漏えい等に係る 国土交通大臣への経過報告	情報漏えい等に係る 国土交通大臣への報告	企業再生推進本部、 企業倫理・リスク統括部の設置	「JR西日本グループ 中期経営計画 2008-2012」の見直し	情報漏えい等に係る 国土交通大臣への報告				
H20.4	H20.4		H21.4	H21.8		H21.10		H21.12	H22.4	H22.12	H23.4	H23.11	H24.4	H24.11
「安全基本計画」説明の 場」開催	「追悼慰霊式」開催		「追悼慰霊式」開催	「説明会」開催		「お詫びの会」開催		「説明会」開催	「追悼慰霊式」開催	「説明会」開催	「追悼慰霊式」開催	「説明会」開催	「追悼慰霊式」開催	「説明会」開催